令 和 4 年 度 目 標 指 標 【 5 4 項 目 】

注)「流域市町」とは、四万十川流域のうち、四万十川条例第2条第4項で定める四万十市、中土佐町、梼原町、津野町、四万十町をいう。

住民が主体となる項目【２６項目】	H29 現状値	H30	R1	R2	R4 目標値	行政が主体となる項目【２８項目】	H29 現状値	H30	R1	R2	R4 目標値
1　生態系及び景観の保全　：　本来、自然が持つ機能を十分に生かしながら、多様な生態系や景観を重視した四万十川の保全を図る。【１８項目】											
（１）　四万十川の水量が豊かで、 清流が保たれ、生態系が保全されていること。【10項目】											
①清流基準の達成度（単年値）						①清流基準の達成度（単年値）					
・調査地点（本川５ヶ所、支川５ヶ所）における清流度（水平方向の透明性）の平均値	9.1m	7.1m	5.4m	5.0m	7.1m	・調査地点（本川５ヶ所、支川５ヶ所）における窒素の平均値	0.28mg/L	0.28mg/L	0.27mg/L	0.29mg/L	0.35mg/L
・調査地点（本川５ヶ所、支川５ヶ所）における水生生物の平均値	1.3ランク	1.6ランク	1.6ランク	1.2ランク	1.3ランク	・調査地点（本川５ヶ所、支川５ヶ所）におけるりんの平均値	0.009mg/L	0.013mg/L	0.011mg/L	0.015mg/L	0.015mg/L
②生活排水の浄化率（汚水処理人口普及率）						②生活排水の浄化率（汚水処理人口普及率）					
・汚水処理人口に普及率に統合	－	－	－	－	－	・下水道、集落排水施設、合併浄化槽処理人口/処理計画人口（累計値）	71.60%	73.30%	74.60%	76.00%	76.88%
③四万十川一斉清掃の参加率						③環境に配慮した砂防・治山ダム数					
・参加者数／流域人口（単年値）	13.70%	6.36%	2.33%	0.36%	9.00%	・土砂供給が可能な砂防堰堤、環境に配慮した木製治山ダムの基数（累計値）	7基	7基	7基	7基	－
④水切り袋の普及率（5年ごと）	76.73%	－	－	－	86.10%	④四万十川（具同・大正）における流況					
						・具同及び対大正における流況（豊水、平水、渇水の各流量及び水量感）（単年度）					
						豊水流量	－	具同:欠測 大正:42.34m³/s	具同:欠測 大正:38.17m3/s	具同:欠測 大正:30.53m3/s	－
						平水流量	－	具同:欠測 大正:11.00m³/s	具同:欠測 大正:12.03m3/s	具同:欠測 大正:9.94m3/s	－
						渇水流量	－	具同:欠測 大正:3.99m³/s	具同:欠測 大正:3.42m3/s	具同:欠測 大正:3.31m3/s	－
						⑤四万十川における河床高の状況（R4に実施）					
						・本川における河床高の水位（単年度）	－	－	－	－	－
						⑥四万十川における魚類・底生動物の確認種数					
						・本川（国管理区間）における魚類、底生生物の種数（2017年調査）	－	魚類 71種 底生生物 234種	－	－	－
（２）　森林、農地及び草地が適切に管理され、環境に配慮した経営が行われていること。【８項目】											
①森林認証の認証状況（認証団体数、認証面積）						①除・間伐の面積					
・森林管理協議会（FSC）、緑の循環認証会議（SGEC）の認証団体数（累計値）	4団体	4団体	4団体	4団体	－	・造林補助事業者及び治山事業等の実施による（単年値）	1,007ha	1,499ha	1,780ha	1,821ha	－
・森林管理協議会（FSC）、緑の循環認証会議（SGEC）の認証森林面積（累計値）	21,177ha	21,177ha	21,189ha	21,223ha	－	②混交林の面積					
②環境保全型農業の実施状況						・造林補助事業及び治山事業等により実施された除・間伐のうち 水土保全林（保全型）に区分された森林内で行われた強度間伐の面積（単年値）	153ha	278ha	427ha	670ha	－
・有機JAS認定事業者（四万十川流域に事業所を置く）	29事業所	28事業所	8事業所	9事業所	－	③環境先進企業との官民協働の環境保全					
・エコファーマーの認定を受けて化学肥料低減などの「持続的な農業生産方式」に取り組んでいる栽培面積や環境保全型農業直接支払交付金を活用し化学肥料低減などに取り組んでいる栽培面積。（一部重複あり）	－	356.0ha	323.7ha	251.6ha	－	・「協働の森づくり事業」の協定締結件数 ・「協働の川づくり事業」の協定締結件数	22件 1件	22件 1件	22件 2件	15件 2件	－ 2件
③リサイクル肥料の年間生産状況（単年値）	9,371t	8,440t	18,758t	9,253t	－	④有害鳥獣の捕獲数					
④耕作放棄地の面積						・流域市町での有害鳥獣の捕獲数（単年値）	－	12,241頭	11,292頭	10,262頭	－
・農業センサス（5年ごと）による耕作放棄地の面積	660ha (R2センサス)	－	－	－	－						
2　生活・文化・歴史の豊かさの確保　：　流域の人々の生活・文化・歴史の豊かさの確保と流域を訪れる人々が感じる魅力の向上に努める。【３６項目】											
（１）　住民の安全かつ快適な生活が保たれていること。【５項目】											
①情報通信網の普及率（5年ごと）						①ネットワーク道路の安全・快適度					
・インターネットの普及率	42.80%	－	－	－	45.00%	・Ｒ197、Ｒ381、Ｒ439、Ｒ440、Ｒ441、県道窪川船戸線の道路改良率（累積値）	75.22%	75.73%	75.73%	76.59%	－
・携帯電話の普及率	80.90%	－	－	－	88.50%	・Ｒ197、Ｒ381、Ｒ439、Ｒ440、Ｒ441、県道窪川船戸線の道路情報板等の設置数（累積値）	－	20基	18基	19基	－
						・人口1,000人あたりの交通事故の年間発生件数（単年値）	1.1件	1.1件	1.0件	0.9件	－
②生活満足度（5年ごと）	67.60%	－	－	－	－	②地元中高卒者の地元就職率（単年値）	33.33%	36.17%	26.15%	23.44%	－
						③流域市町の子どもの人数					
						・年少（15歳未満）の人口（単年値）	7,120人	6,979人	6,733人	6,513人	－
（２）　四万十川がこどもの遊び場として活用されていること。【７項目】											
①川で遊んだ子どもの割合	68.20%	64.90%	58.20%	65.60%	－	①こどもが自由に魚を釣れる場所数	全区間	全区間	全区間	全区間	－
②カヌー、SUP等を体験したことのある子どもの割合	15.30%	18.20%	14.50%	15.50%	－	②水生生物調査の実施校の割合	40.80%	38.80%	44.90%	49.00%	
③川で魚やエビなどを捕ったことのある子どもの割合	40.30%	44.50%	32.20%	40.70%	－	③水質調査の実施校の割合	32.70%	24.50%	24.50%	24.50%	
						④自然体験型修学旅行の実施校数	12校	13校	13校	16校	30校
（３）　四万十川を生かした産業が活性化し、持続的に発展していること。【５項目】											
①農家民宿等の軒数（単年値）	25軒	25軒	12軒	13軒	－	①漁獲量（単年値）					
②四万十ブランド認証の認証件数						・農林水産統計年報によるアユの漁獲量	37,688kg	24,553kg	15,093kg	11,186kg	－
・（公財）四万十川財団の認証件数（累計値）	11件	10件	13件	3件	－	・農林水産統計年報によるウナギの漁獲量	3,472kg	3,215kg	2,534kg	1,317kg	－
③地産の状況						・事業者によるアオノリの取扱量	2,596kg	1kg	0kg	0kg	－
・農協直販所等における地元農産物の販売額（単年値）	1,978百万円	1,922百万円	1,940百万円	1,711百万円	－	・事業者によるテナガエビの取扱量	285kg	46kg	206kg	206kg	－
・入漁券の販売額	7,256千円	8,203千円	10,882千円	10,851千円	－						
						②公共事業における木材の利用状況					
						・新規公共建築物施設（国、県、市町村）における木造木質化率（単年値）	63.60%	50.00%	84.60%	85.70%	50.00%
						・県有施設の新規公共建築施設における木造木質化率	－	60.00%	100.00%	100.00%	100.00%
						・公共土木工事での木材利用量（仮設工・木製型枠を含む）	9.99m3/億円	10.20m3/億円	12.70m3/億円	8.90m3/億円	12.00m3/億円
（４）　地域間交流が活発に行われていること。また、その活動が住民の生活又は流域の生態系に負荷を生じさせていないこと。【５項目】											
①環境保全に取り組むＮＰＯ・ボランティアの団体数（累計値）	23団体	23団体	23団体	23団体	－	①環境活動リーダー・インタープリター等の人数					
②グリーンツーリズムの交流人口						・生物多様性こうち戦略推進リーダーの登録者数、四万十川リバーマスターの人数（単年度）	86人	95人	93人	98人	－
・四万十川すみずみツーリズム会員の農家民宿等の宿泊利用者数（単年値）	57,387人	78,784人	101,183人	55,181人	－	②交流人口の状況					
						・四万十川（自然、景観、文化）を活用したイベント等の入込客（単年値）	142,730人	177,752人	157,333人	31,540人	137,000人
						・流域の自然等を生かした観光（学習）施設等の利用者数	－	86,339人	71,952人	59,350人	－
						・流域の道の駅等の利用者数	－	944,964人	950,755人	822,267人	－
						③流域市町の人口					
						・推計人口	66,107人	65,083人	64,253人	62,901人	－
						・県外からの移住者（Iターン、Uターン）数	69人	172人	169人	220人	－
（５）　文化・歴史を保全活用していること。【９項目】											
①伝統祭事の実施状況						①適正に管理保存された沈下橋数					
・神楽、花取踊り、大文字の送り火等の祭事の実施数（累計値）	64件	59件	58件	43件	66件	・四万十川沈下橋保存方針の対象数	48橋	48橋	48橋	48橋	48橋
②伝統漁法の実施状況（単年値）						②伝統漁具の保存					
・伝統漁法の許可件数	551人	544人	545人	473人	－	・漁具の収集、保存状況	192点	192点	192点	192点	192点
・船大工の人数	4人	4人	4人	4人	－	③有形・無形民俗文化財数、史跡・名勝・天然記念物数					
・川漁師の人数	1人	0人	0人	9人	－	・国、県指定の箇所数	49か所	49か所	49か所	49か所	－
③博物館・資料館の入場者数						④重要文化的景観選定地区における重要構成要素の箇所数	322か所	334か所	334か所	332か所	－
・四万十市郷土博物館及び檮原町立歴史民俗資料館の入場者数	7,177人	8,362人	10,650人	5,640人		⑤文化財等の活用状況					
④シンボル的伝統家屋等						・イベントの開催や学術研究の状況等の件数	－	13件	6件	5件	－
・檮原町、東津野村、大正町、十和村の茶堂の箇所数（町指定民俗・有形民俗文化財）	16か所	24か所	17か所	17か所	16か所						
（６）　環境に負荷をかけないライフスタイルが保たれていること。【５項目】											
①エコカー（低公害車）の保有台数						①新エネルギーに関する自家発電設備の設置率（5年ごと）					
・グリーン化税制対象車（低公害車）の保有台数（単年値）	3,140台	3,521台	3,876台	4,154台	－	・個人用住宅における設置率（風力、太陽光、廃棄物発電等）	－	－	－	－	－
②ゴミの排出状況（単年値）											
・住民１人当たりのゴミの量	910g	923g	928g	936g	843g						
・ゴミのリサイクル率	29.63%	30.10%	29.00%	33.30%	45.90%						
③生ゴミのたい肥化への取組状況（コンポスト容器等の普及率）（5年ごと）	39.43%	－	－	－	－						
④レジ袋削減に「みんなマイバッグ」の取組											
・レジ袋無料配布を行っていない店舗数	6店	7店	10店	8店	－						